

飼料用米ソフトグレインサイレージ配合飼料の南部かしわへの 給与による低コスト生産と美味しさの向上技術

【成果の概要】

- (1) 南部かしわに、配合飼料 60%、飼料用米 SGS30%及びくず大豆 10%を混合した飼料（表1）を 28 日齢以降に飽食給与すると、概ね 16 週齢で出荷目標体重(2.8kg)へ到達し、配合飼料を給与したものとほぼ同等の増体重を確保できます（表2）。
- (2) 筋胃が大きく発達しており（図1）、特産肉用鶏として販売する時に、差別化を図る特徴のひとつとなります。飼料費は、正肉 1kg 当たり 130 円/kg の削減が見込まれます（表3）。
- (3) 鶏肉の官能評価は、配合飼料の鶏肉と比較し「味の良さ」、「香ばしさ」の項目で優れ（図2）、美味しさに関わる遊離アミノ酸は全項目で同等以上です（表4）。

表1 供試飼料の配合割合と成分 (%)

区分	供試原料 (%)			粗蛋白
	飼料用米	配合 ^{※1}	くず ^{※2}	
	SGS	飼料	大豆	
試験区	30	60	10	15.8
対照区	-	100	-	17.2

※1 プロイラー後期飼料、※2 150℃10分加熱破砕

表2 発育成績

区分	性別	羽数	育成成績 (g/羽)			
			4週齢	12週齢	16週齢	17週齢
試験区	雌	10	573±41	2,167±168	2,759±281	3,006±254
対照区	雌	10	575±38	2,163±134	2,845±199	3,064±254

(参考 平成29年度所内成績)

試験区	雌	10	552±30	2,284±125	2,872±197	2,992±205
対照区	雌	10	547±38	2,328±103	3,011±179	3,146±204

表3 1羽当たり産肉性及び経済性

区分	羽数	胸肉	腿肉	ささみ	正肉量	筋胃	正肉歩留	飼料摂取量計	正肉 1kg 当たり必要	
									1羽当たり飼料費	飼料費
試験区	3	382±33	518±53	103±15	1,003±101	69±18	35±0.6	12,450	747	745 (85) ^{※1}
対照区	3	387±29	523±42	110±10	1,020±79	55±9	36±0.2	11,010	892	875 (100)

※1kg 当たり、飼料用米 SGS25 円、配合飼料 81 円、くず大豆 41 円とし算出、※1: 対照区を 100%とした時の割合

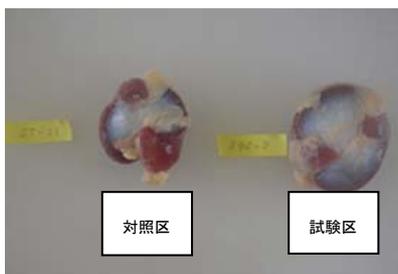


図1 筋胃

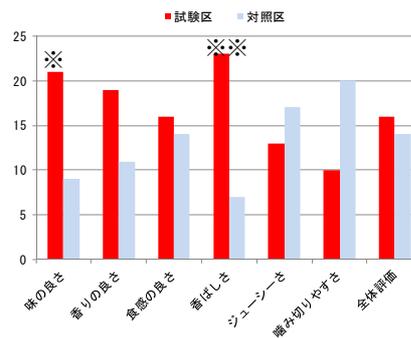


図2 官能評価結果

※※P<0.01
※ P<0.05

表4 胸肉中の遊離アミノ酸量

区分	旨味		甘味					苦味		
	Glu	Asp	Gly	Ala	Gln	Thr	Ser	Val	Leu	Ile
試験区	138±73	94±30	72±16	178±23	260±60	79±25	146±36	65±21	100±41	55±18
対照区	106±38	93±15	60±10	162±7	212±44	66±13	128±29	56±17	82±25	46±12

※ 平成29年度の所内実施試験サンプル使用 平均±標準偏差、N=3

担当研究室 畜産研究所家畜育種研究室

〒020-0605 滝沢市砂込 737-1 TEL. 019-688-4328 FAX. 019-688-4327